

# なるほど! プロスニーカー<sup>®</sup> プロブーツ<sup>®</sup>



PROTECTIVE  
SNEAKERS



◆ 型式認定制度に関するこことは…

JSAA 公益社団法人日本保安用品協会

◆ 商品や技術に関するこことは…

JPSA 日本プロテクティブスニーカー協会



# プロスニーカー®って何?



## プロスニーカー®とは

公益社団法人日本保安用品協会制定のプロテクティブスニーカー規格（JSAA規格）に定める公的試験をクリアし、一定の安全性能や耐久性を備える作業靴を総称して“プロスニーカー®”“プロブーツ®”と呼んでいます。

これらは、より呼びやすく親しみやすい呼称として誕生したプロテクティブスニーカー、プロテクティブブーツの略称であり、“安全のプロが作った作業用スニーカー・ブーツ”として命名した愛称です。

日本プロテクティブスニーカー協会発足以来、加盟会社は増加し規格認定品も確実に普及して参りました。



## JSAA型式認定制度と JSAA/JPSAの役割

平成13年に一定の安全性能基準を有する作業靴として日本プロテクティブスニーカー協会規格（JPSA規格）が制定されたことにより、“プロテクティブスニーカー（プロスニーカー®）”が誕生しました。今では、働く人の足もとの安全確保に欠かせない、作業靴となりました。

団体規格としてスタートした新基準も徐々に市場の評価が高まり、2011年9月1日より公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）が制定することにより公益性の高い規格へとレベルアップされ、製品の型式認定制度の基準規格として普及しております。



# JSAA規格とはどんな規格?



プロテクティブスニーカー規格 (JSAA規格) は、JISを基に作られた規格です。つま先の保護性能については、安全靴のS種・L種と同じ性能を持っていますが、甲被材料や底材については、安全靴に比べ耐久性が低く設定されており、普通作業～軽作業に適した靴を認定する規格となっています。



日本産業標準化法に基づき、JISに則った性能を満足している商品にのみ付けることができるマークです。



(公社)日本保安用品協会がJSAA規格に則った性能を満足していることを認めた商品に付けることができるマークです。

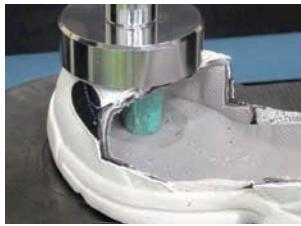
## 安全靴とプロテクティブスニーカーの違い

JIS合格品である「安全靴」、JSAA規格認定品である「プロスニーカー®」の両方とも主として足のつま先を守る作業用の履物です。それぞれを試験、認定する機関と、製品の素材・区分や規格内容が異なります。

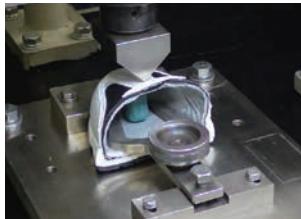
項目	安全靴	プロテクティブスニーカー	プロテクティブブーツ	特徴
基準規格	JIS	JSAA	JSAA	JISは国家標準の日本産業規格、JSAAは公益社団法人日本保安用品協会の制定規格です。
作業区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 超重作業用 (U種)</li> <li>● 重作業用 (H種)</li> <li>● 総作業用 (S種)</li> <li>● 軽作業用 (L種)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通作業用 (A種)</li> <li>● 軽作業用 (B種)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通作業用 (A種)</li> <li>● 軽作業用 (B種)</li> </ul>	つま先の防護性能等の安全性能や耐久性の違いにより、「安全靴」は4つの作業区分に、プロテクティブスニーカーは2つの作業区分に分かれています。
甲被の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革製</li> <li>● 総ゴム製</li> <li>又は総高分子製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革製</li> <li>● ゴム製</li> <li>● 人工皮革製</li> <li>● 合成皮革製</li> <li>● 編物製</li> <li>● プラスチック製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴム製</li> <li>● 革製</li> <li>● 人工皮革製</li> <li>● 合成皮革製</li> <li>● 編物製</li> <li>● プラスチック製</li> </ul>	安全靴として規定されている革、総ゴムは耐久性に優れています。一方、プロテクティブスニーカーに主として使用されている人工皮革や合成皮革、編物等は、革に比べ耐久性は劣りますが、甲被材としての自由度があり、多様なデザインを実現します。
製法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インジェクション式</li> <li>● バルカナイズド式</li> <li>● セメンテッド式</li> </ul>	主流は <ul style="list-style-type: none"> <li>● セメンテッド式</li> <li>● インジェクション式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 加硫圧着式</li> <li>● セメンテッド式</li> <li>● インジェクション式</li> </ul>	セメンテッド製法は、多様な靴底を使用する場合の底付方式として広く利用されています。バルカナイズド製法・インジェクション製法や加硫圧着式は、各種油や溶剤及び酸、アルカリ等の浸入を防ぐ設計が施されています。

\*プロテクティブスニーカーは、JIS規格品である安全靴と比べて、甲被・底材の素材の自由度がある反面、使用環境によっては底の剥がれ・摩耗や甲被の破れなど耐久性が劣る場合があります。したがって、耐久性を重視される方には、JIS規格品である安全靴の着用をお薦めします。

\*デザイン性に富むプロテクティブスニーカーは、甲被材として加工しやすく軽い人工皮革、合成皮革、編物等が主に利用されており、軽量素材を使用した靴底が多く使用されていることから軽作業用として広く活用されています。



耐圧迫試験



耐衝撃試験



はく離抵抗試験

## 規格に基づく厳格な性能試験

(公社)日本保安用品協会制定のプロテクティブスニーカー規格に基づき、公的試験機関で性能テストを行っています。この試験をすべてクリアした製品に型式認定合格証明票(型式認定タグ)を付与しています。



## プロテクティブスニーカーの基本性能(抜粋)

種類		普通作業用	軽作業用
記号		A種	B種
耐圧迫性 つま先部	圧迫力	10±0.1kN	4.5±0.04kN
	中底と先芯のすきま	※右の「試験時の中底と先芯のすきま」を参照。	
耐衝撃性	衝撃エネルギー	70±1.4J	30±0.6J
	落下高さ	36cm	15cm
表底の はく離抵抗	ストライカ質量	20±0.2kg	
	中底と先芯のすきま	※右の「試験時の中底と先芯のすきま」を参照。	
	革製・ゴム製	300N以上	
	人工皮革・合成皮革・ 縞物・プラスチック	200N以上	150N以上

## 試験時の中底と先芯のすきま

サイズ	すきま(mm)
23.0以下	12.5以上
23.5~24.5	13.0以上
25.0~25.5	13.5以上
26.0~27.0	14.0以上
27.5~28.5	14.5以上
29.0以上	15.0以上

## 型式認定合格証明票

### (型式認定タグ)は、信頼の証

耐衝撃試験をはじめとした公的試験の結果、プロテクティブスニーカー規格を満たしたプロスニーカー®には、(公社)日本保安用品協会の型式認定合格証明票(通称:型式認定タグ)を付け、併せて個装箱には認定マークを表示しています。また、靴本体のペロ裏には型式認定合格とその種別(A種/B種)を明記しているほか、付加的性能がある場合はそれらをピクトグラムで表示し、使用者にいつでも分かりやすいようにしています。市場で流通する多様なスニーカー調作業靴の中でも、プロスニーカー®にはこのような型式認定合格の証を分かりやすく表示していますので、安心してお選びいただけます。

#### 靴本体



型式認定合格証明票  
(型式認定タグ)

#### 個装箱



認定番号：00000

#### 靴本体のペロ裏



〈表示例〉



型式認定タグがない商品、つまり認定されていない靴は、  
安全面での保証はないのじゃ。

#### 付加的性能を表すピクトグラム

##### かかと部の衝撃吸収性能



衝撃吸収

##### 耐滑性能



耐滑性

##### 静電気帯電防止性能



静電

##### 耐踏抜き性能



耐踏抜性

##### 漏れ防止性能



耐漏水



プロスニーカー®のJSAA規格に、

## 新たなアウトソール区分

(ソールタイプIとソールタイプII)が新設されました。



(2024年10月1日より)

### ソールタイプI (耐燃料油性ゴム)

従来からの認定品が属する区分です。

全ての製品のアウトソールには耐燃料油性能を有しています。

### ソールタイプII (非耐燃料油性ゴム)

新規に加わったソールの区分です。アウトソールに耐燃料油性能はありません。油のある環境では使用しないでください。



### ソールタイプIIの注意点

表示の「ピクトグラム」または「指定文字表示」をチェックしていただくようお願いいたします。

ご使用は、油環境以外に限定されます。

チェック  
01



又は



ソールタイプIIの場合、油に対する耐性を有しておりませんので左記のピクトグラム又は指定文字が表示されています。

チェック  
02



耐滑性

左記のピクトグラムが表示されている製品は、JSAA規格が定める付加的性能「耐滑性」をクリアしている証です。

皆様の職場環境をご確認の上、商品をお選びください。



# どんなシーンで活躍?



プロスニーカー®・プロブーツ®(以下、プロスニーカー®)はつま先の保護性能や表底のはく離抵抗等の基準により、普通作業用「A種」と軽作業用「B種」の区分があります。又、2024年10月1日に追補版により改定され、表底材料による種類が「ソールタイプI」と「ソールタイプII」の2種類となりました。一例を下記にまとめましたのでご参照願います。

## 主な作業



建設・土木作業



宅配・運送業



建設機械・クレーン操作作業



構内荷物運搬作業



木工所内作業



厨房・食品加工作業



工作機械の保守・点検・整備作業



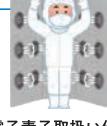
自動車整備作業



建設機械・重機保守・点検・整備作業



電子部品



電子素子取扱い作業



病院内作業(看護作業)



オフィス清掃作業



警備作業



現場管理・監督業務

主な作業名	ソールタイプ		つま先の安全性能		主な作業名	ソールタイプ		つま先の安全性能	
	I	II	A種	B種		I	II	A種	B種
建設・土木作業	○	○	○	△	自動車整備作業	○	×	○	△
宅配・運送業	○	○	◎	○	建設機械・重機保守・点検・整備作業	○	×	○	△
建設機械・クレーン操作作業	○	○	○	△	電子部品・電子素子取扱い作業	○	○	◎	○
構内荷物運搬作業	○	○	◎	○	病院内作業(看護作業)	○	○	○	○
木工所内作業	○	○	◎	○	オフィス清掃作業	○	×	○	○
厨房・食品加工作業	○	×	◎	○	警備作業	○	△	○	△
工作機械の保守・点検・整備作業	○	×	○	△	現場管理・監督業務	○	○	◎	○

※上記の表の中で記載している職種はあくまでも目安ですので、作業環境にあったプロテクティブスニーカーをお選びください。

# 仕事場や日常には、多くの危険が潜んでいます。



様々な外的要因が加わると  
以下の事故・事象が起きやすくなります。





# 職場での転倒にご注意ください!



## 転倒予防のために適切な「作業靴」を選びましょう

陸上貨物運送事業労働災害防止規定では、第5章安全基準第1節 通則の8 安全な履物に“作業に応じ、安全靴その他履物を使用させること”とあり、第2節 貨物自動車等の積下し作業の7転倒防止措置では、“荷役作業場所等に合わせて、耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用させること”と明記しており、耐滑性能の重要性を示唆しています。

転倒は、状況によっては転落・墜落につながります。安全靴やプロスニーカー®は、耐滑性能の有無が確認できるようになっていますので、作業環境に合わせた靴の選定が重要です。

### 転倒が発生する状況

### 転倒が起きる状況によって、靴を選択しましょう

#### 例1 荷物の仕分け作業中

作業スペースにものが多く

つまずきそう



#### 例2 荷台からの荷卸し作業中

荷台が濡れていますと滑りそう



#### 例3 運転席から降りるとき

凍結した路面で滑りそう



### 作業環境・内容をチェック

#### ①床の材質や形状・状況で、転倒対策が必要になります

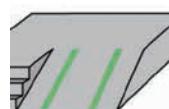
(材質例)

- ・コンクリート
- ・Pタイル
- ・金属



(形状・状況例)

- ・床面が水・油で濡れている
- ・凹凸がある
- ・傾斜がある(スロープ等)



#### ②作業中に重量物を取扱う

安全靴やプロスニーカー®を着用してください。



### 耐滑性の有無

#### ■ 安全靴の場合

個装箱や製品のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください。



JIS T 8101 安全靴

CI/S/F1/F2/...

#### ■ プロスニーカー®の場合

靴のべら裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。



(表示例)



# 自分に合う靴を見つけよう!



足に合わない靴は、いくら優れた性能をもつものでも十分な効果を発揮してくれません。靴を選ぶ際に注意しなければならないポイントを紹介いたします。

## 自分の足の形を認識することから

足幅が広い足か細い足かを知ることが重要。人それぞれ足の形は違います。足幅の広い人もいれば、細い人もいるでしょう。一般的に日本人は甲が高く幅が広い足で、反対に欧米人は甲が低く細い足だと言われています。靴の幅がきつく感じる人は、幅広の靴を選ぶ必要がありますし、偏平足気味の人は足裏に触れる部分がアーチ形状の靴を選ばない方がいい場合もあります。靴を選ぶ前に、もう一度足の形を確かめてみましょう。

## 購入する時間も靴選びのポイント

人の足は朝と夕方では0.5~1.0cm程度大きさに差があると言われています。これは体重がかかり足裏のアーチが広がることと、立っていることで血流が足へと下りてきて、足がむくんてしまうことが影響していると考えられます。

したがって、靴を購入するのは足が大きくなった午後がいいとされています。足が大きい状態で選んでおくと後でつらい思いをせずに済むでしょう。

## 試し履きをしてみましょう

靴を購入する場合、実際に履いて感覚をつかむことが大切となります。これから長く付き合っていくものなのだから、しっかりと細かくチェックしておきましょう。足に合わない靴を履いていると、足のトラブルや運動機能の低下をまねくおそれもあります。

また、試し履きをする時に片足しか履かない人が多いと思いますが、必ず両足とも試すことをおすすめします。人によって左右の足の形が違ったり、サイズに差があるからです。この時、靴紐をしっかり結び、甲に伝わる感触をつかむことも重要となります。

## 靴の履き方



## チェックポイント



### ① 甲

甲の部分がゆるいと、擦れる場合があります。また、きつないと足が疲れやすくなります。極端に合わないとき以外は靴紐で調節しましょう。

### ② つま先

靴を履いて立った時に、足の指を動かして、自由に動くか確かめてください。1.0~1.5cmくらいの余裕は必要です。親指や小指の付け根がきついと足指にトラブルが生じてしまうことがあります。

### ③ アーチ部

中敷のクッションが足裏のアーチとズれていると、アーチに負荷が加わり足の疲労を招く原因になります。偏平足気味の人は、特に中敷のクッションの位置に注意して靴を選んでください。

### ④ かかと

かかとを浮かして靴が脱げてしまうようでは、着地する時に不安定になり危険です。かかとを包み込むようにしっかりとフィットする靴を選びましょう。

## 注意事項

- つま先部に硬質の先芯が入っているので、足を入れる際には十分注意してください。
- かかとを潰して履かないようにしましょう。
- 履く前は靴下にシワがないか確かめましょう。
- 靴紐やベルトを締めたままで脱いだり履いたりしないようにしましょう。



# きちんと手入れをしよう!

作業現場で安心して働くためには、プロスニーカー®の手入れが欠かせません。

より長く、より安全に履きこなすために、プロスニーカー®の正しい手入れ方法を身につけましょう。

- 洗浄**
- ①メッシュ地やステッチ部、シワ部分に詰まった汚れやほこりは靴ブラシで落とします。
  - ②靴底に汚れが付着していると耐滑性が損なわれますので、ブラシなどを活用し、ほこりや目詰まりを取り除きましょう。
  - ③ブラッシングでも落ちない汚れは、ぬるま湯か常温水を使用し、柔らかい布で丁寧に汚れを落としてください。

- 乾燥**
- 直射日光を避け、よく水気を取り、低温で風通しの良い日陰で乾かします。  
新聞紙や靴用の除湿剤を詰めると、より湿気を吸い込んで乾きやすくなります。

- 消臭  
防カビ**
- 乾燥が不十分で靴の中に水気が残ったままだと細菌が繁殖しやすくなるため、入念に乾かしましょう。

- 保管**
- 乾燥後、防水スプレーを吹き付けておけば、汚れが付着しても落ちやすくなります。また、丁寧に手入れしても毎日履いていれば負担が蓄積していくので、2足以上揃えて、1日おきに休ませてあげれば、意外なほど長持ちするようになります。

※ご購入後、着用前に防水スプレーをすると汚れが付着にくくなります。

 着用する際もかかと部分を踏まないようご注意ください。形が崩れ、足当たりの原因になります。



発泡ポリウレタン製の靴底は、加水分解で劣化しやすく、履いていないままで放置していても経年劣化で靴底がひび割れている可能性があります。しばらく使っていなかった靴は必ず靴底も確認してから履くようにしましょう。(P12参照)

 手を使わず靴底のかかと同士を踏みつけて脱ぐと、破損の原因になります。



靴に溶剤や薬品などが付いた場合は、すぐに拭き取るようにしてください。(その際、手などに薬品が付かないように注意してください)

 なるべく水洗いをしないようにしましょう。鋼鉄製の先芯が錆びることはあります。アッパー材(特に天然皮革)、中底等が傷む可能性があります。



プロスニーカー®を手入れする時は、中敷も小まめに手入れして、消耗が激しいものは交換するようにしましょう。



安全を守ってくれる靴だからこそ、手入れをして大切にしてくれなきゃ、博士泣いちやうのじや。



つま先に物を落としたり強くぶつけたりしたプロスニーカー®は、速やかに交換しましょう。

# 豆知識、お教えします!



## 加水分解とは？



表底のウレタン樹脂と空気中の水分が結びついて分子の結合が壊れボロボロと崩れる、もしくはベタベタになる現象です。靴にもよりますが、甲被にウレタンが使用されている物は甲被も加水分解が起こります。



## インソール（中敷き）の交換は？



インソールは靴のつま先（先芯）性能を担保するものなので、使用的な靴と同じメーカーから同等品の購入をお願いします。静電機能を有する靴の場合は、中底面とインソールの導通が必要になります。こちらの場合も必ず同じメーカーから同等品の購入をお願いします。



## 靴の交換目安は？



安全性を第一に考え、一度強い衝撃や圧迫を受けたものは速やかに交換をお勧めします。なお、表底の著しい摩耗はスベリ転倒事故、つま先のハガレはつまずき転倒事故につながる可能性があります。速やかな交換をお勧めします。



## JSAA型式認定タグって何？



JSAA（日本保安用品協会）規格により試験をし、合格した証です。市場には粗悪な靴も多く、当協会では市場買取調査を行い、粗悪品との差別化をはかり、安全な靴の提供を心掛けております。型式認定タグは安全の目安です。（P4参照）



## 日本プロテクティブスニーカー協会 設立と協会規格の歴史

### 1997年

外国製スニーカータイプの作業靴が市場に多く流通されました。中には、製品の個装箱に記載されている特徴として、あたかもISOやJISの同等か、それ以上の強度、性能を有するとの文言が記載されておりました。実際にはそのような仕様ではない製品が誇大広告により、消費者に誤認を与えるものでした。

### 2001年8月

当時の日本安全靴工業会が協力し、日本プロテクティブスニーカー協会（略称：JPSA）が発足され、JPSA規格が制定されました。

### 2010年6月

当規格の管理・運営は、社団法人日本保安用品協会（略称：JSAA）に移行され、規格名称がJPSA規格からJSAA規格へ名称変更されました。

### 2011年9月

社団法人日本保安用品協会が公益認定を受けたことによって、当規格は公益社団法人日本保安用品協会の規格となりました。

### 2017年11月

JSAA規格の改正（主な改正点：甲被素材、甲被強度試験等）

### 2021年7月

JSAA規格の改正（主な改正点：安全靴JIS2020改正に伴う試験方法、採寸等の統一、先芯定義を刷新等）

### 2024年

JSAA規格追補版の発行（ソールタイプI.IIを新設）

## 主な活動

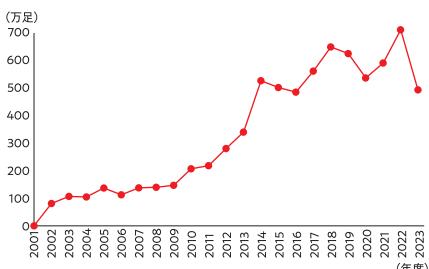
- ①会員会社による運営委員会の開催（9回/年）
- ②定期総会の開催（1回/年）
- ③市場買取調査（1回以上/年）
- ④会則等の見直し
- ⑤協会運営に係る課題を抽出し、審議する
- ⑥JSAA公益事業への協力



## 支持が広がる

### プロスニーカー®、プロブーツ®

プロスニーカー®、プロブーツ®の市場推移



## 【関係法令】労働安全衛生規則 (安全靴等の使用)

第558条 事業者は、作業中の労働者に、通路等の構造又は当該作業の状態に応じて、安全靴その他の適当な履物を定め、当該履物を使用させなければならない。

2 前項の労働者は、同項の規定により定められた履物の使用を命じられたときは、当該履物を使用しなければならない。

◆作業内容に合わせて、JIS規格品の安全靴やJSAA規格認定品のプロテクティブスニーカー又はプロテクティブブーツの着用をおすすめします。

※安全靴に比べて甲被材や底材の自由度がある反面、使用環境によっては耐久性が劣る場合があります。

## プロスニーカー®、 プロブーツ®は商標登録されています



# 日本プロテクティブスニーカー協会会員一覧 (2024年11月1日現在)

<b>アイツ株式会社</b> 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-4-8 TEL.06-6262-8500 FAX.06-6262-5400 <a href="https://www.aitz.co.jp/">https://www.aitz.co.jp/</a>	<b>株式会社アシックス</b> 〒650-8555 兵庫県神戸市中央区港島中町7-1-1 TEL.050-1744-3344 FAX.078-303-1138 <a href="https://www.asics.com/jp/ja-jp/working">https://www.asics.com/jp/ja-jp/working</a>	<b>株式会社アルペン</b> 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-9-40アルペン丸の内タワー TEL.052-559-1010 FAX.052-229-8882 <a href="https://store.alpen-group.jp/corporate/">https://store.alpen-group.jp/corporate/</a>
<b>株式会社エンゼル</b> 〒123-0841 東京都足立区西新井4-2-10 TEL.03-3890-1407 FAX.03-3890-0486 <a href="http://www.angel-shoes.co.jp/">http://www.angel-shoes.co.jp/</a>	<b>オカモト株式会社</b> 〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号 TEL.03-3817-4111 FAX.03-3817-4118 <a href="https://www.okamoto-inc.jp/">https://www.okamoto-inc.jp/</a>	<b>おたふく手袋株式会社</b> 〒562-8585 大阪府箕面市船場東3-11-22 TEL.072-728-1111 FAX.072-728-6654 <a href="https://www.otafuku-glove.jp">https://www.otafuku-glove.jp</a>
<b>小野商事株式会社</b> 〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-6 TEL.03-3322-5111 FAX.03-3324-0005 <a href="https://www.ace-glove.co.jp/">https://www.ace-glove.co.jp/</a>	<b>株式会社喜多</b> 〒640-8111 和歌山県和歌山市新通5-22 TEL.073-423-1697 FAX.073-432-3791 <a href="https://mega-kita.jp">https://mega-kita.jp</a>	<b>株式会社キタヤマ</b> 〒143-0011 東京都大田区大森本町2-4-26 TEL.03-3765-1251 FAX.03-3764-1316 <a href="http://www.tryant.jp">http://www.tryant.jp</a>
<b>弘進ゴム株式会社</b> 〒984-0816 宮城県仙台市若林区河原町二丁目1番地11号 TEL.022-214-3021 FAX.022-214-6830 <a href="http://www.kohshin-grp.co.jp/">http://www.kohshin-grp.co.jp/</a>	<b>株式会社 コーコス信岡</b> 〒729-3101 広島県福山市新市町大字手戸68 TEL.0847-40-3390(代) FAX.0847-40-3392 <a href="http://www.co-cos.co.jp">http://www.co-cos.co.jp</a>	<b>サンダンス株式会社</b> 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-8-22-501 TEL.06-6441-6151 FAX.06-6441-6150 <a href="https://www.sundance-ltd.com/">https://www.sundance-ltd.com/</a>
<b>株式会社自重堂</b> 〒729-3193 広島県福山市新市町手戸16-2 TEL.0847-51-8123 FAX.0847-52-5898 <a href="https://www.jichodo.co.jp/">https://www.jichodo.co.jp/</a>	<b>ジー・デージャパン株式会社</b> 〒110-0015 東京都台東区東上野2-22-5 錦ビル5F 502号 TEL.03-3832-8151 FAX.03-3832-8153 <a href="http://www.gd-japan.com/">http://www.gd-japan.com/</a>	<b>株式会社ジーベック</b> 〒720-8601 広島県福山市霞町2-1-2 TEL.084-928-0003 FAX.084-932-7700 <a href="http://www.xebec-group.co.jp/">http://www.xebec-group.co.jp/</a>
<b>株式会社シモン</b> 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-3-1 TEL.03-5695-1011 FAX.03-5695-0211 <a href="https://www.simon.co.jp/">https://www.simon.co.jp/</a>	<b>株式会社SHINYOH</b> 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-17 KN日本橋ビル6階402号 TEL.03-3527-9234 FAX.03-3527-9244	<b>鈴木産業株式会社</b> 〒418-0022 静岡県富士宮市小泉626-4 TEL.0544-23-2456 FAX.0544-26-8718 <a href="http://www.wakuwaku-working.com/">http://www.wakuwaku-working.com/</a>
<b>ドンケル株式会社</b> 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-11-6 TEL.048-990-1500 FAX.048-990-1501 <a href="http://www.donkel.co.jp/">http://www.donkel.co.jp/</a>	<b>日進ゴム株式会社</b> 〒700-0975 岡山市北区今八丁目16番17号 TEL.(086)243-2456(代) FAX.(086)242-0550 <a href="http://www.nishinhrubber.co.jp/">http://www.nishinhrubber.co.jp/</a>	<b>野口ゴム工業株式会社</b> 〒739-0038 広島県東広島市田口研究団地6-40 TEL.082-425-3241 FAX.082-425-3233 <a href="http://www.nosacks.co.jp">http://www.nosacks.co.jp</a>
<b>株式会社のばのば</b> 〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区御本町9279-37 TEL.045-921-3561 FAX.045-921-5337 <a href="http://www.yetian.com/">http://www.yetian.com/</a>	<b>フェアストーン株式会社</b> 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町89-6 TEL.045-681-3879 FAX.045-661-0114 <a href="http://www.fairstone.jp">http://www.fairstone.jp</a>	<b>福山ゴム工業株式会社</b> 〒720-8637 広島県福山市松浜町三丁目1番63号 TEL.084-921-2311 FAX.084-932-1643 <a href="https://www.fukuyamagomu.co.jp/">https://www.fukuyamagomu.co.jp/</a>
<b>富士手袋工業株式会社</b> 〒649-0306 和歌山県有田市初島町浜1263 TEL.0737-83-1355 FAX.0737-83-5005 <a href="https://www.fujitebukuro.co.jp/">https://www.fujitebukuro.co.jp/</a>	<b>株式会社丸五</b> 〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町1680 TEL.086-428-0230 FAX.086-428-7551 <a href="https://www.marugo.ne.jp">https://www.marugo.ne.jp</a>	<b>ミズノ株式会社</b> 〒559-8510 大阪市住之江区南港北1丁目12番35号 TEL.06-6614-8421 FAX.06-6614-8399 <a href="https://www.mizuno.jp">https://www.mizuno.jp</a>
<b>ミドリ安全株式会社</b> 〒150-8455 東京都渋谷区広尾5-4-3 TEL.03-3442-8293 FAX.03-3444-4508 <a href="https://www.midori-fw.jp/">https://www.midori-fw.jp/</a>	<b>株式会社ユニワールド</b> 〒649-0313 和歌山県有田市千田72 TEL.0737-82-0663 FAX.0737-82-0611 <a href="https://www.uniworld.jp">https://www.uniworld.jp</a>	



## 日本プロテクティブスニーカー協会

事務局：〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-15 和光湯島ビル5階

公益社団法人日本保安用品協会内

TEL.03(5804)3125 FAX.03(5804)3126

URL <http://www.prosneaker.jp>